

⚠ 必ず組み立ての前にご確認ください

この度は弊社商品をご購入頂き誠にありがとうございます。

テレビの機種によっては、取り付けができない場合がございます。

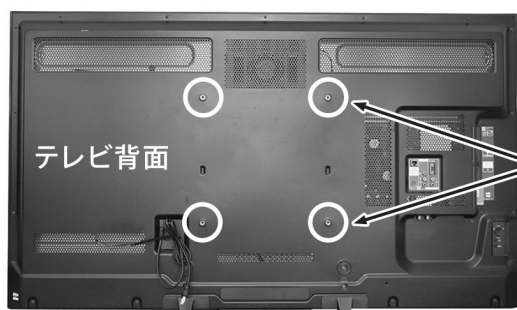
必ず取り付けの前に、下記を参考にして、取付の可否をご確認ください。

①お手持ちのテレビが下記に該当するかご確認ください。

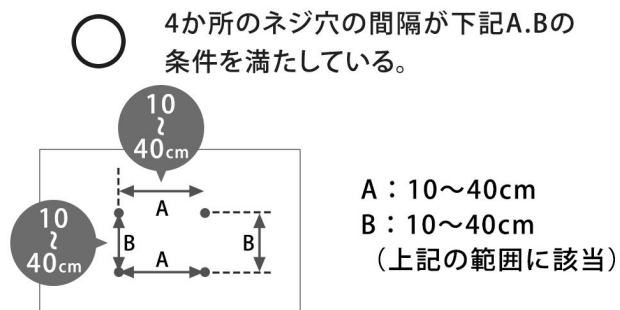
- 画面サイズが**32v～65v**
- 重量が**40kg**以下
- テレビメーカーが「壁掛け対応」としている型番のテレビ

※背面形状が取り付けの諸条件に合っていたとしても、テレビに付属の土台が取り外せない仕様である等の理由で壁掛け非対応としているテレビがあります。

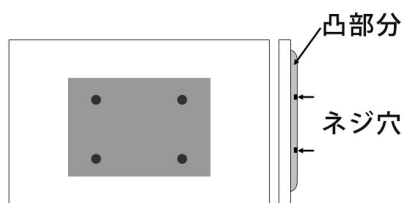
②お手持ちのテレビの背面形状をご確認ください。



壁掛け用
ネジ穴



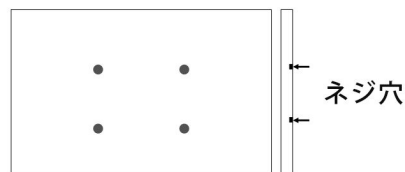
- ネジ穴が4か所全て凸部分にある。



凸部分

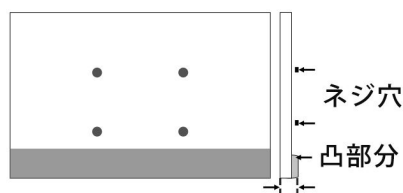
ネジ穴

- 4か所のネジ穴の位置すべてに凸部分がない。



ネジ穴

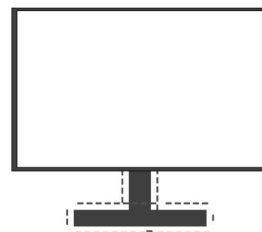
- 4か所のネジ穴の下にある段差が2.5cm未満である。



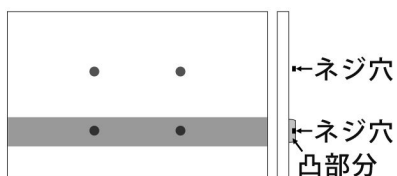
ネジ穴

凸部分

- 土台(スタンド)が取り外せる。



- ✗ 4か所のネジ穴のうち一部が凸部分にある。

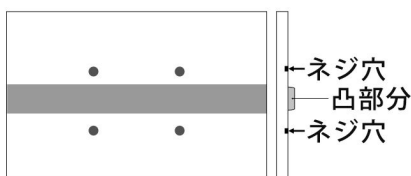


ネジ穴

ネジ穴

凸部分

- ✗ 4か所のネジ穴の中間に凸部分がある。

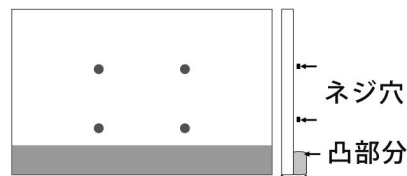


ネジ穴

凸部分

ネジ穴

- ✗ 4か所のネジ穴の下にある段差が2.5cm以上ある。



ネジ穴

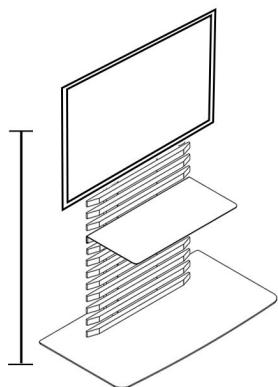
凸部分

使用シーンに合わせた高さの目安

下記に記載の数値は、
ブラケットまでの高さです。

①ソファやベットに合わせて

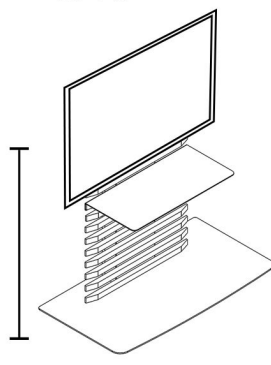
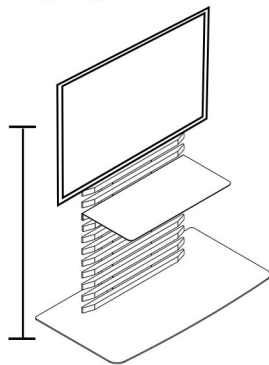
①約98.5cm



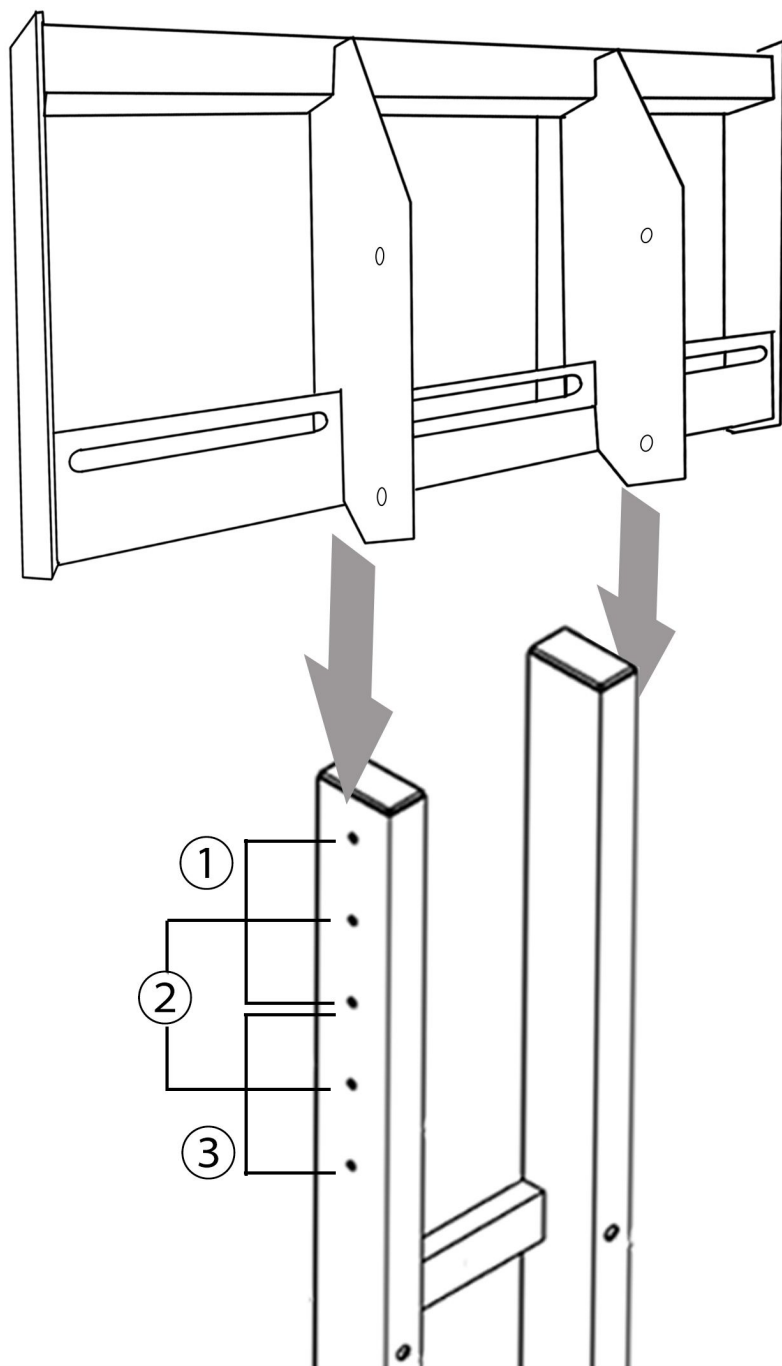
②③座椅子や床座りに合わせて

②約94cm

③約89.5cm



※テレビのサイズにより、目安の高さと実際の高さが若干異なります。
また、木板が隠れる場合がございます。
予めご了承ください。

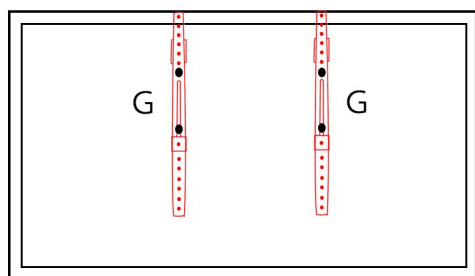


※さらに微調整を行う場合

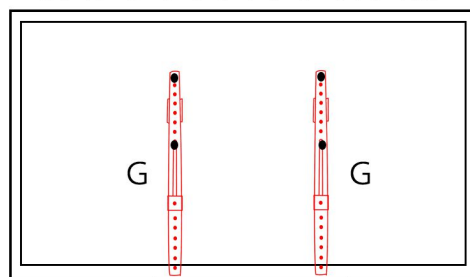
テレビの背面に取り付けるGブラケットで、下図のように位置を調整できます。

テレビの大きさや、背面の形状によってはねじ穴の位置の調整ができない場合がございます。

低くする：ブラケット上寄りに配置



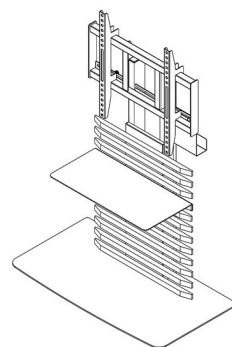
高くする：ブラケット下寄りに配置



※重さによりテレビが斜めになる場合がございます。
その際は、ブラケットの位置を高くし、調整をお願いします。

【RIN10】TVスタンド 説明書

この度は、弊社商品をご購入頂き、誠にありがとうございます。安全にご使用頂くため、事前に本説明書をよく読んでからご使用ください。本製品を末永くご使用頂くために、この説明書は大切に保管してください。



取り扱い上の注意



危険

この説明を無視して誤った扱いをすると、人が死亡または重傷を負う事故が想定される内容を示しています。

- ・梱包材のビニール袋を頭にかぶらないでください。



注意

この説明を無視して誤った扱いをすると、事故やケガ等の人的傷害、及び物的損傷が想定される内容を示しています。

■ 使用上の注意

- ・設置の際は本体が水平になるように調整してください。水平に保たれないまま設置すると、本体が倒れ、けがをしたり、本体が変形し、使用できなくなる可能性があります。
- ・重い物や不安定な物を置いての棚板調節はお控えください。物の落下や怪我に繋がる可能性があります。
- ・棚板上に座ったり、立ったり、踏み台代わりに使用しないでください。
- ・可動部の隙間に手をいれしないで下さい。怪我をする可能性があります。
- ・直射日光や熱はお避けください。変色、変形の可能性があります。
- ・乱暴な取扱いや用途以外の使用はしないでください。けがや故障・破損の原因になります。
- ・製品を移動させる場合は、AV機器等の落下、破損に注意して注意して行ってください。
- ・使用中にねじのゆるみによるがたつきが生じた場合は締め直してください。締め直してもがたつきが直らない場合は使用を中止してください。そのまま使用すると、変形や落下などを引き起こす原因になります。
- ・テレビの高さを調節する際は、必ず一度フレームからテレビを取り外し、二人以上で行ってください。

■ 設置上の注意

- ・組立は必ず二人以上で行ってください。
- ・床に傷が付かないよう、段ボールや布などを敷いて組立を行ってください。
- ・取り付け確認が取れていないテレビは取り付けしないでください。製品やテレビの破損、落下を引き起こす原因になります。（購入前に確認されていない場合は、本説明書1ページ目をご確認ください。）
- ・ねじ類は所定の場所に確実に締め付けて下さい。テレビ本体が落下してケガの原因になります。
- ・ねじがしっかり固定されているかを確認してからご使用ください。破損や怪我の原因になります。
- ・収納ホルダーからはみ出して機器等を設置しないでください。製品の破損、機器等の落下等を引き起こす可能性があります。
- ・床に傾斜や段差などのある不安定な場所では使用しないで下さい。転倒してけがをする恐れがあります。

※ねじは定期的に点検して、緩んでいるときはしっかり締めてください。（1ヶ月に1度が目安です。）

※製品および梱包材を廃棄するときは、お住まいの自治体の取り決めに従ってください。

※天災などの不可抗力や、お客様の不注意・改造による本製品やテレビの故障・破損に対する保証は致しかねます。

※運送破損、部品欠品、製造不良などの事故が発生した場合、保証書に記載されているロットナンバーをお手元にお控え頂き、ご連絡くださいますようお願い致します。

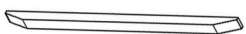
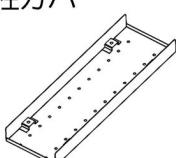
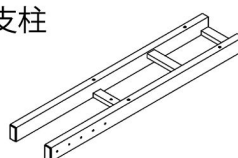
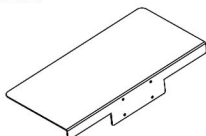
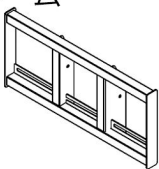
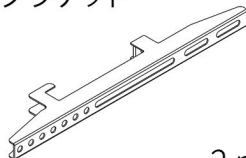
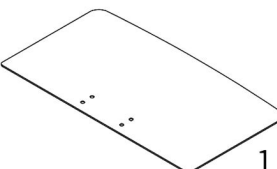
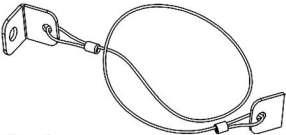
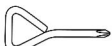
品質表示

外形寸法
構造部材
生産国
販売元

幅70cm×奥行38cm×高さ89.5～98.5cm
金属（スチール）
台湾
タンスのゲン株式会社
〒831-0002 福岡県 大川市 大字 下林 310-3

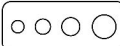
部品一覧

※商品が届いたら、まず部品が揃っているか、ご確認ください。

L 木板  12 pcs	D 支柱カバー  1 pc	E 支柱  1 pc	M 棚板  1 pc
F テレビ取り付け フレーム  1 pc	G テレビ取り付け ブラケット  2 pcs	I 底板  1 pc	J フェルト  4 pcs
K 転倒防止ワイヤー ※壁取り付け用ねじは付属していません。  M6×15mm 1 set	1  M4×12mm 24 pcs 4  M8×30mm 4 pcs 7  (小) 1 pc 10  2 pcs	2  M6×15mm 4 pcs 5  8 pcs 8  (大) 1 pc	3  M6×60mm 4 pcs 6  8 pcs 9  1 pc

※シリーズで共通パーツがあるため、パーツの番号がバラバラになっています。ご了承下さい。

部品一覧(テレビ取り付け用)

  M4×16 / 20 / 25 / 30mm	×各4個	樹脂ワッシャー  (薄) × 4 pcs
  M6×16 / 20 / 25 / 30 / 50mm	×各4個	
  M8×16 / 20 / 30mm	×各4個	樹脂ワッシャー  (厚) × 8 pcs
 4つ穴ワッシャー	× 4個	

※万が一上記のねじが全て適合しない場合は、テレビメーカーに壁掛け用ねじ穴のサイズを確認し、ホームセンター等でお買い求め下さい。

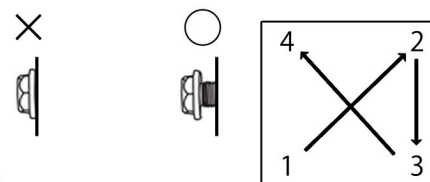
組立のポイント

ねじを最初から強く締めると、他のねじが合わなくなり組み立てできない場合があります。また、全体のゆがみの原因となります。

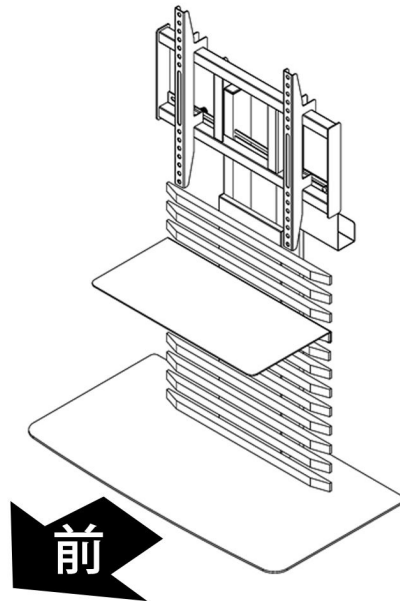
- 1、全てのねじを8割ほどで仮止めしてください
- 2、最後に全てのねじを強く締め付けてください。

※ねじの締める順番について

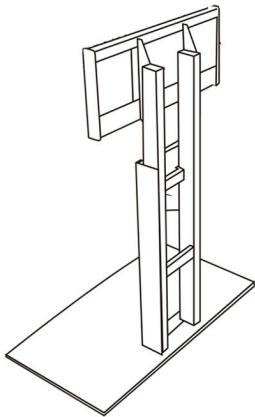
四角型にねじ止めが必要な場合は、最初のねじを任意の場所に取り付け、その対角の位置に2番目のねじをつけてください。
(右図を参照)



完成図

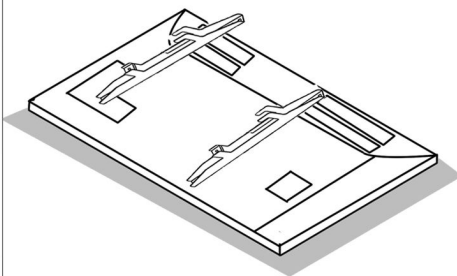


組立手順



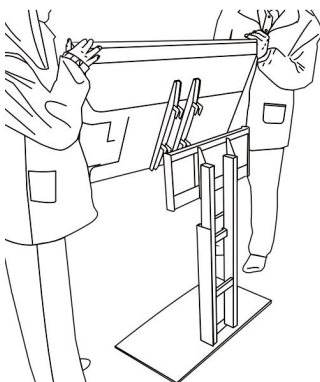
テレビスタンドを
組み立てる

組立手順1-5
P 6～



テレビ取り付けの
準備をする

テレビ取り付け準備1-3
P 10～



テレビをスタンドに
取り付ける

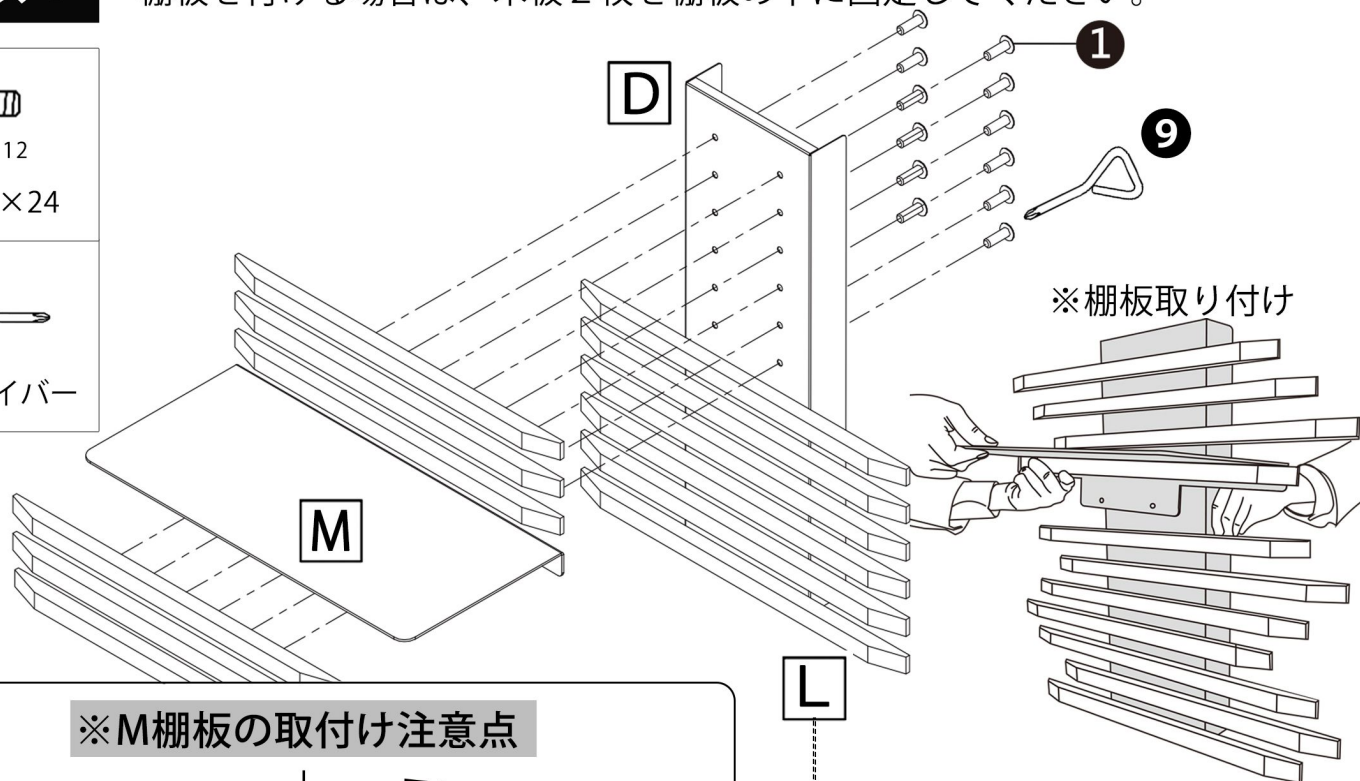
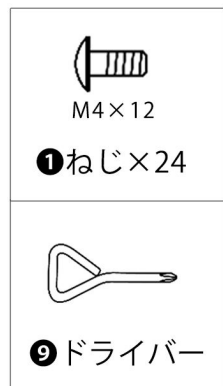
組立手順6
P 13～

組立手順(1)

- ・組立は実際に使用する場所で、十分なスペースをとり、敷物などを敷いた上で行ってください。
- ・必ず2人以上で組立を行ってください。また、組立を行う際は軍手や手袋などを装着し行ってください。
- ・各パーツを取り付ける際は、必ず仮止めを行ってください。

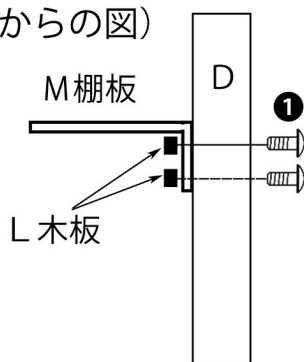
手順 1

D支柱カバーにL木板を取り付けます。
棚板を付ける場合は、木板2枚を棚板の下に固定してください。



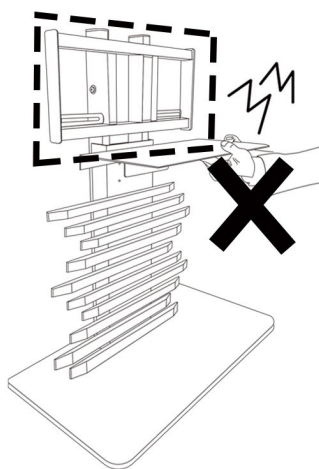
※M棚板の取り付け注意点

(真横からの図)



- 1.M棚板の取り付け向きを確認
- 2.木板で棚板を挟むように取り付ける

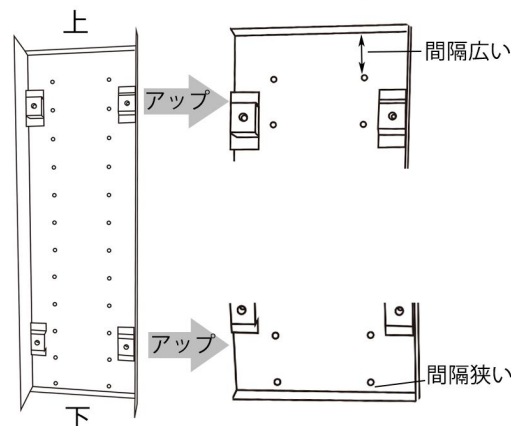
※棚板は11段階に調節可能です。



テレビのサイズにより、棚板の取り付けできない位置がございます。予め、テレビがぶつからない位置に設定します。

※テレビのサイズによっては、L木板が隠れる場合がございます。予めご了承ください。

※D支柱カバー向き



※L木板取り付け手順

1. 木板1本あたりに取り付ける2つのねじを、指で仮止めする。
2. まっすぐになっているかバランスを見ながらドライバーで本締めする。
※仮止めを行わないと板が斜めになったり、ねじが合わなかったりする可能性がありますので、ご注意ください。

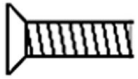
木板の裏には5箇所穴があります。違う位置に固定することで、お好みのデザインにすることが可能です。
※デザインの見本は、販売ページにてご確認ください。

組立手順(2)

手順 2

E 支柱を I 底板に取り付け、四隅に J フェルトを貼り付けます。
支柱や底板には向きがありますので、下図の注意点をご確認ください。

※支柱の本締めを行う際、1点でも緩みがあるとテレビを取り付けた時に支柱が斜めになる可能性がありますので、しっかり締まっているか確認をお願いします。



M8×30

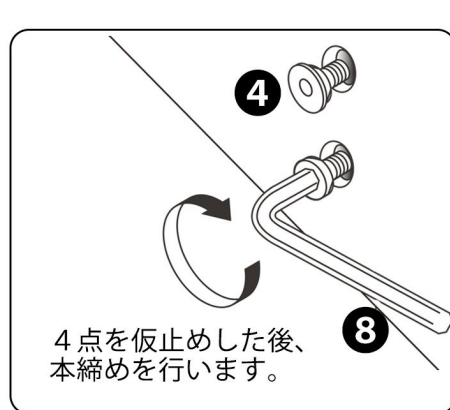
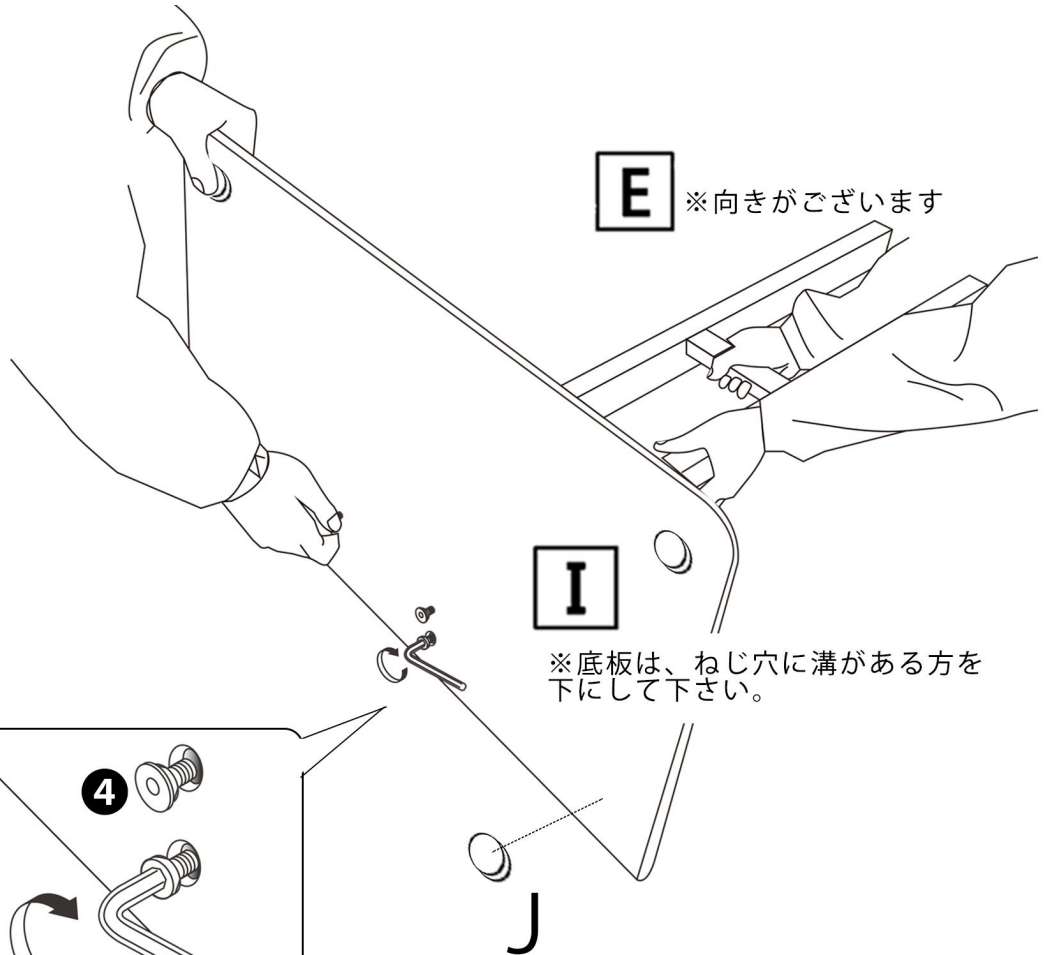
④ねじ×4



⑧六角レンチ
(大)

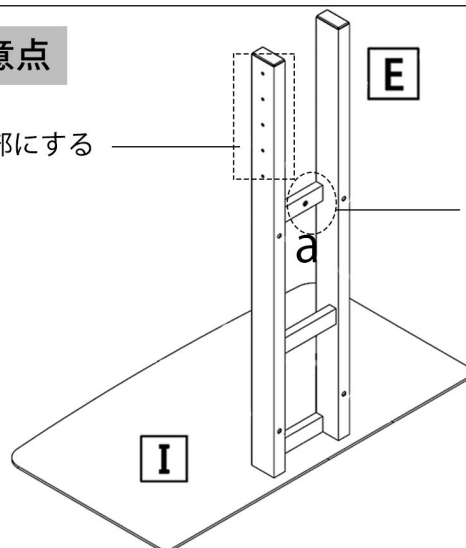


Jフェルト×4



※ E 支柱の取り付け注意点

高さ調節穴がある方を上部にする

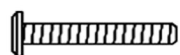


aのワイヤー取り付け穴
がある方を壁側にする

組立手順(3)

手順 3

木板と棚板を取り付けたD支柱カバーをE支柱に固定します。



M6×60

③ねじ×4



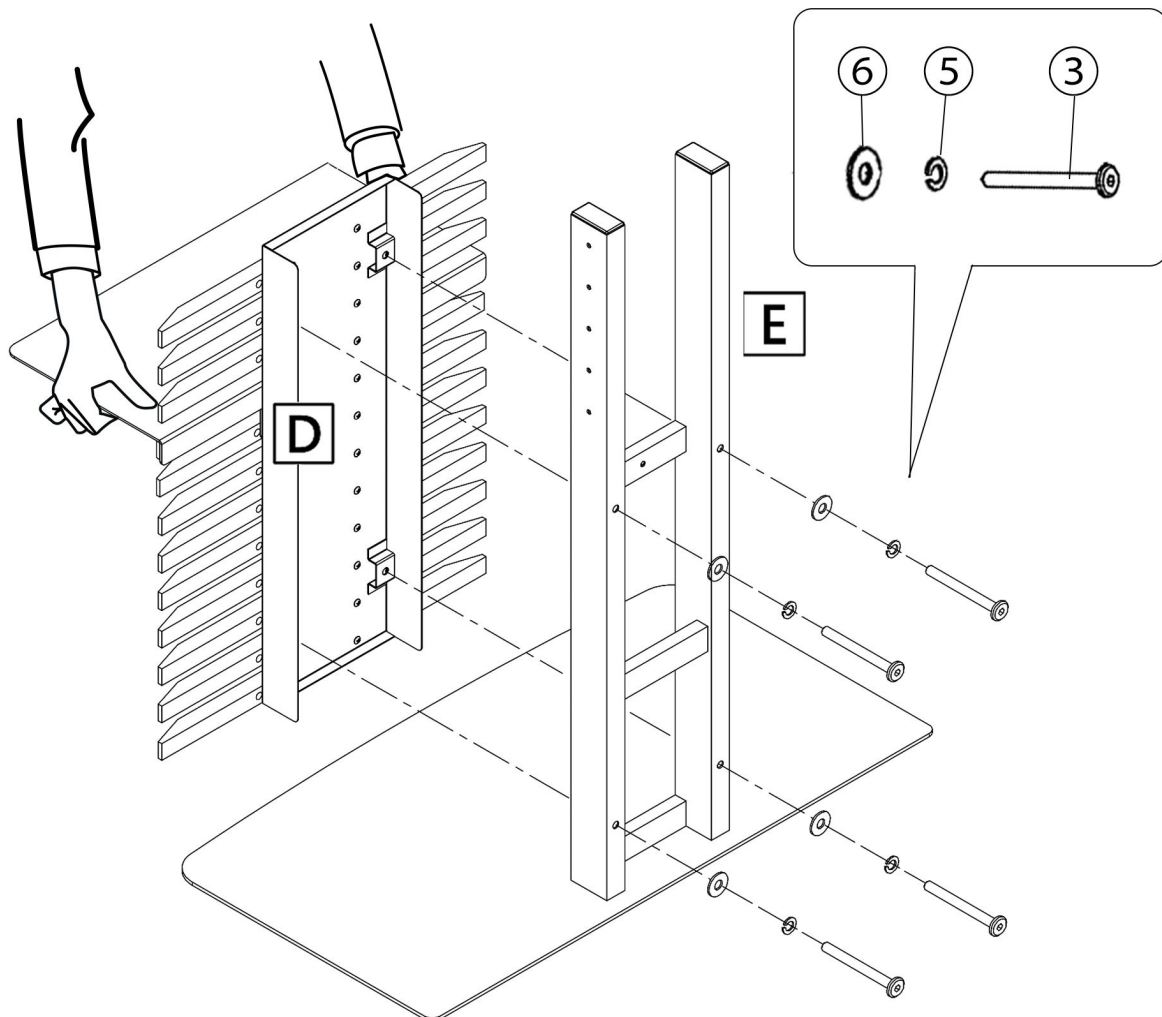
⑤ワッシャー
×4



⑥ワッシャー
×4



⑦六角レンチ
(小)



手順 4

FフレームをE支柱に固定します。高さは3段階に調節可能です。
※高さのイメージはP 2の「使用シーンに合わせた高さの目安」をご参考ください。



M6×15

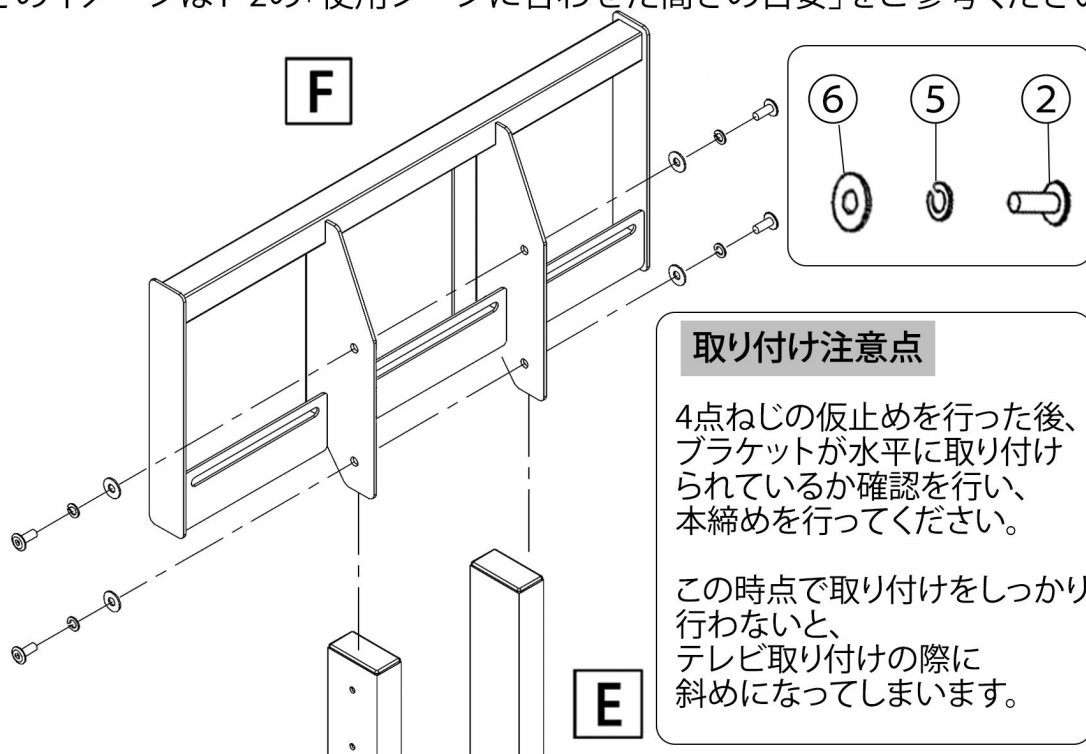
②ねじ×4



⑤ワッシャー
×4



⑥ワッシャー
×4



取り付け注意点

4点ねじの仮止めを行った後、
ブラケットが水平に取り付け
られているか確認を行い、
本締めを行ってください。

この時点で取り付けをしっかり
行わないと、
テレビ取り付けの際に
斜めになってしまいます。

組立手順(4)

手順5

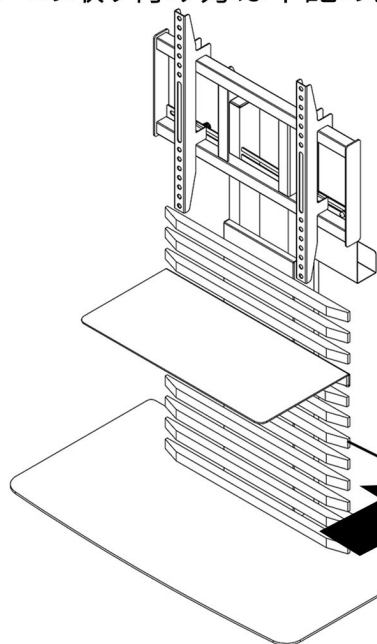
スタンドを壁に寄せ、K 転倒防止ワイヤーを、E 支柱に固定します。
壁への取り付け方は下記の注意事項をご確認ください。



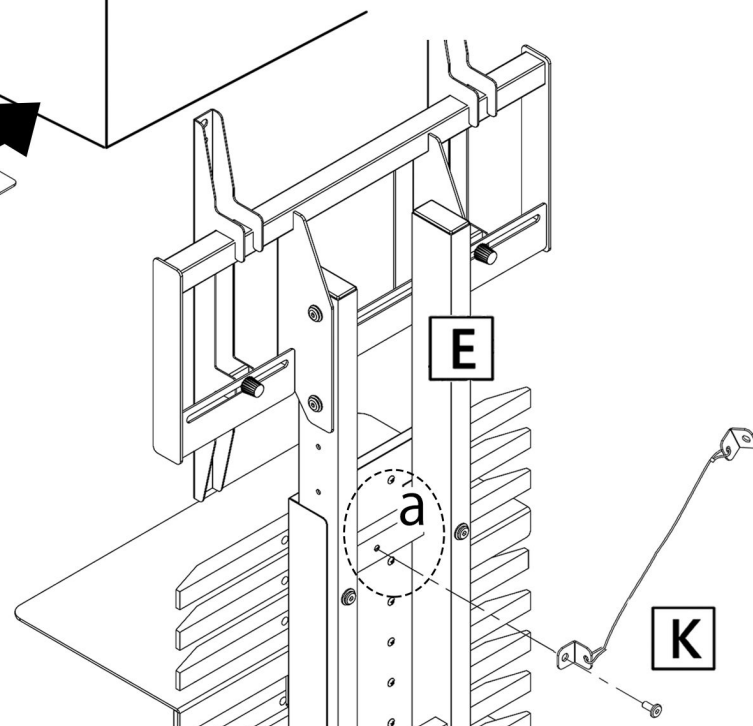
Kワイヤー



⑦六角レンチ
(小)



1. TVスタンドを壁に寄せます。
(※移動の際は、P16を参考にしてください。
また、必ず2人以上で行ってください。)

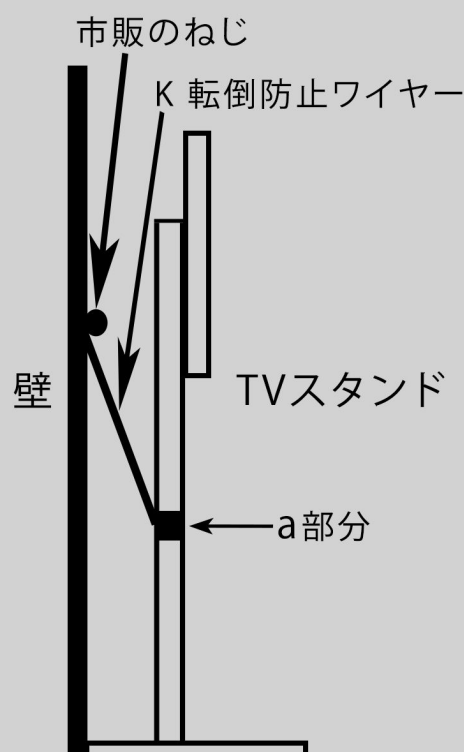


2. E支柱のa部分にねじ穴があるので、
Kワイヤーの片方のL字金具を
付属のねじで固定します。

3. ワイヤーのもう片方のL字金具を
たるみがないよう壁に取り付けます。
※下記の注意事項を必ず確認してください。

❗ 注意事項

- 転倒防止ワイヤーは十分に強度のある壁面で
取り付けを行ってください。
強度が弱いと転倒防止の機能を果たしません。
- 壁の材質により使用できるねじが異なるので、
ホームセンターなどでご相談の上、
ねじをお買い求めください。
※当商品には壁取り付け用ねじの付属はございません。
- ワイヤーはたるみがないように設置してください。
ワイヤーがたるんだ状態では、倒れた際に
過度の衝撃が伝わり、ワイヤーが破損し、
転倒する恐れがあります。



テレビの取り付け準備①

【必要部品】



取付ねじ×4

※テレビに適したサイズをお使いください。



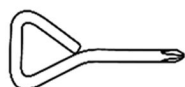
4つ穴ワッシャー×4

※ネジに適したサイズをお使いください。



樹脂ワッシャー

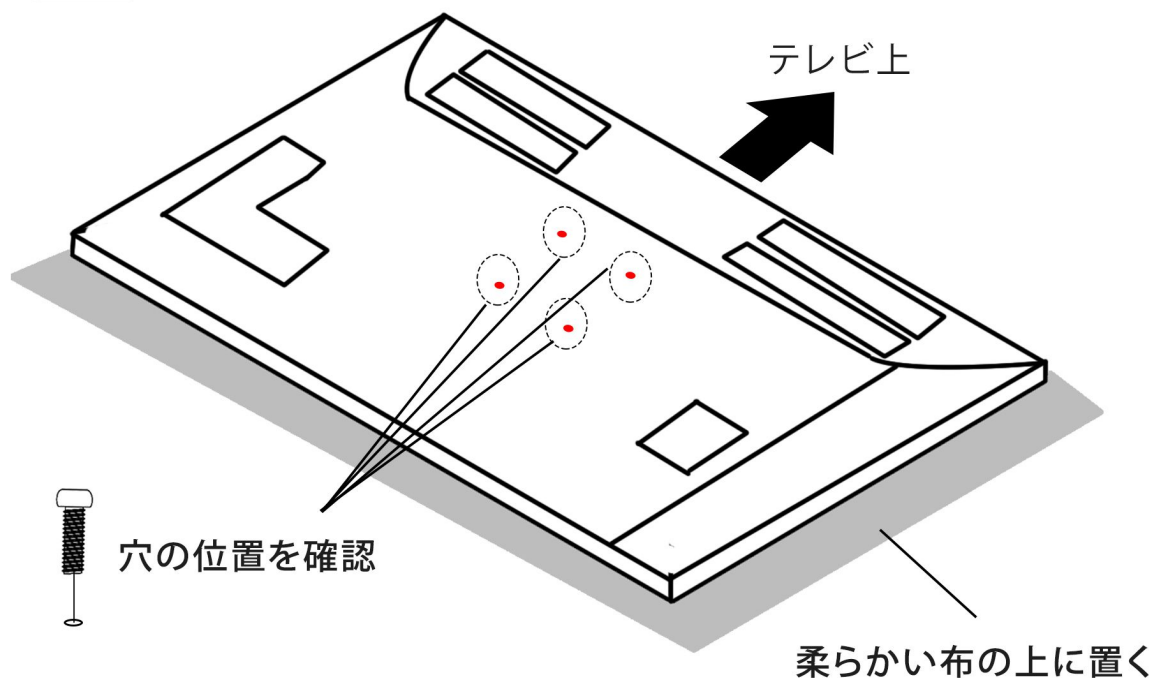
※必要に応じてお使いください。



ドライバー

左図の必要部品を用意し、図1のように布や柔らかいクッション材などを敷いた上に画面を下にしてテレビを載せます。

図1



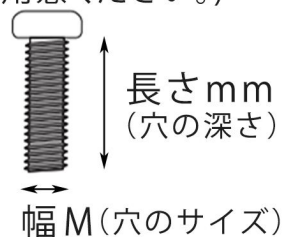
手順1

ねじを選ぶ

①図1のように、ねじ穴の位置を4つ確認する

②ねじをあてはめながら合うねじを選ぶ

(テレビの規格によって、サイズや穴の深さは異なります。分からない場合はテレビの製造会社へお問い合わせください。どのねじにも合わない場合は、テレビのねじ穴に合うものを別途で用意ください。)



	⊕	M4×16 / 20 / 25 / 30mm
	⊕	M6×16 / 20 / 25 / 30 / 50mm
	⊕	M8×16 / 20 / 30mm

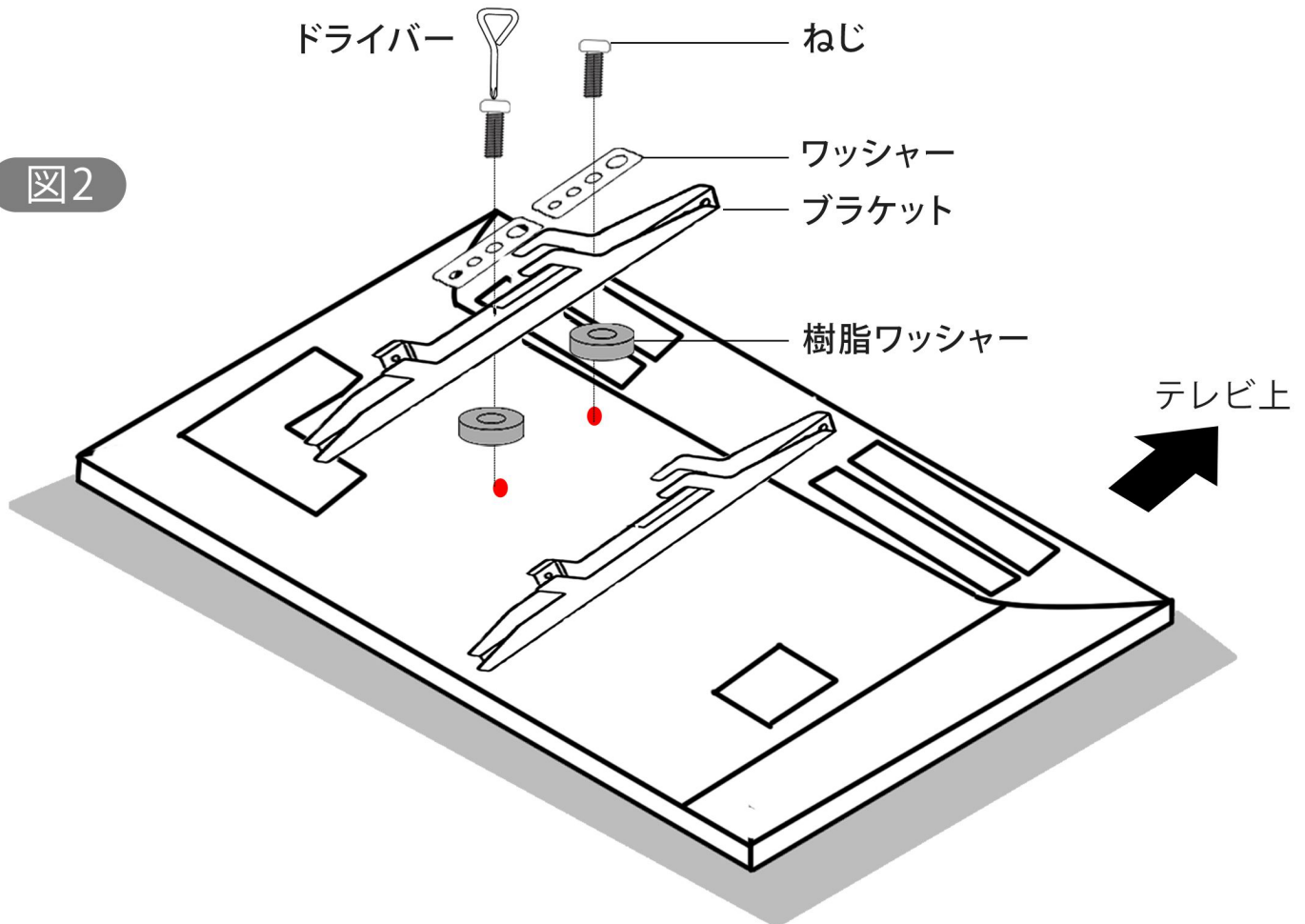
③ねじを外す

まだねじの取り付けは行わず、手元に準備しておきます。

テレビの取り付け準備②

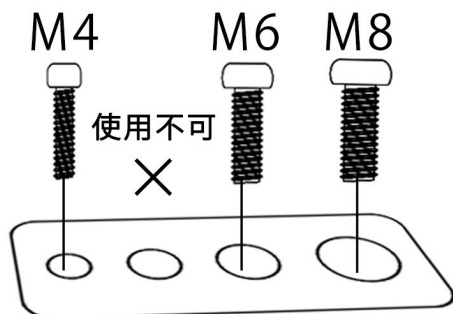
ブラケットは、水平に取り付ける必要があります。図2のように、ブラケットと合わせて適切なねじ/ワッシャー穴/樹脂ワッシャーの使用方法を選択してください。

図2



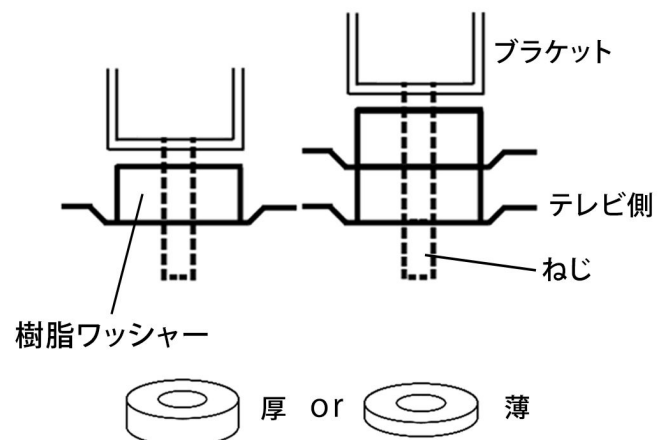
手順2 ワッシャー穴を選ぶ

選んだねじのサイズに合う穴を選びます。
下記を必ず確認してください。



手順3 樹脂ワッシャーを選ぶ

テレビのねじ穴周辺がくぼんでいる形のものや、テレビ取付ねじの長さが長い場合は最適な樹脂ワッシャーを使い、調整します。
(テレビによっては使う必要はありません。)



※種類は2タイプあります。

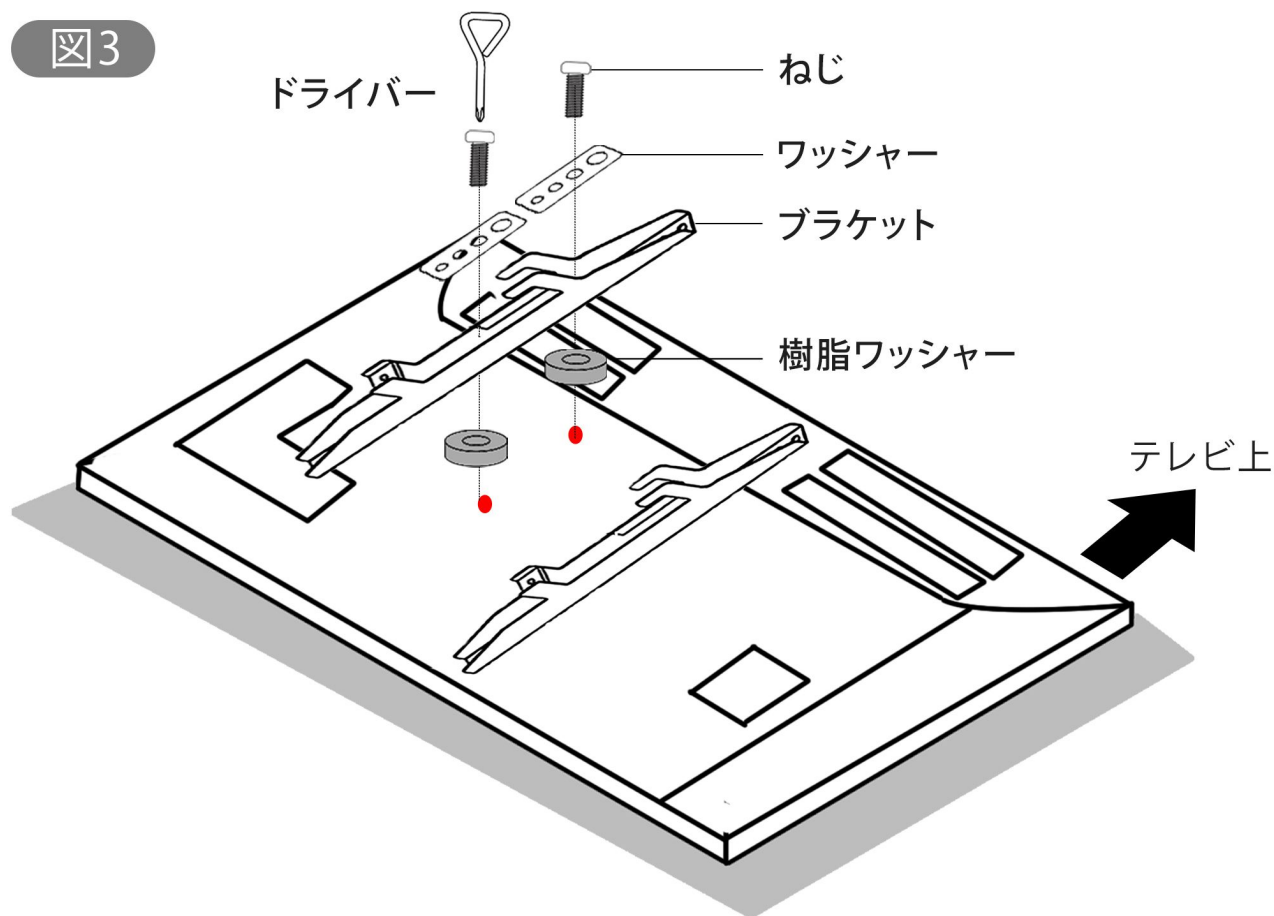
※上図のように重ねて使うことも可能です。

テレビの取り付け準備③

手順4

ブラケットを取り付ける

図3



①ブラケットの上下の向きを確認します。(参考:図4)

②ブラケットを取り付ける位置を決めます。(参考:図3)

テレビによって、上下ねじの距離が異なるため、ブラケットの固定する位置も変わります。下ねじ固定用に届かない場合は、フリーホールをご利用下さい。

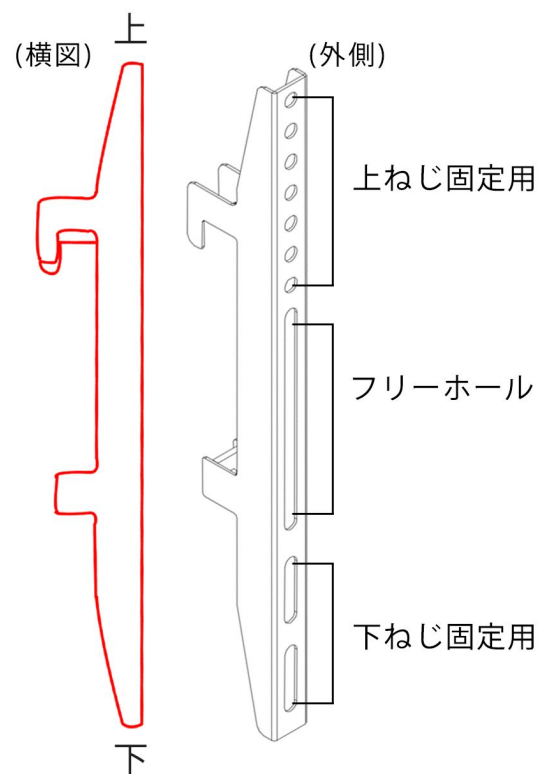
③付属部品を順番に組み合わせ、ドライバーで固定します。

(参考:図3)

4点仮止めを終えた後に、本締めをしっかりと行っていきます。

特にフリーホールでの2点留めを行った場合は、しっかりと締めていないとテレビをスタンドに取り付けた際に、ずれ落ちる可能性があります。十分にねじを締めて下さい。

図4



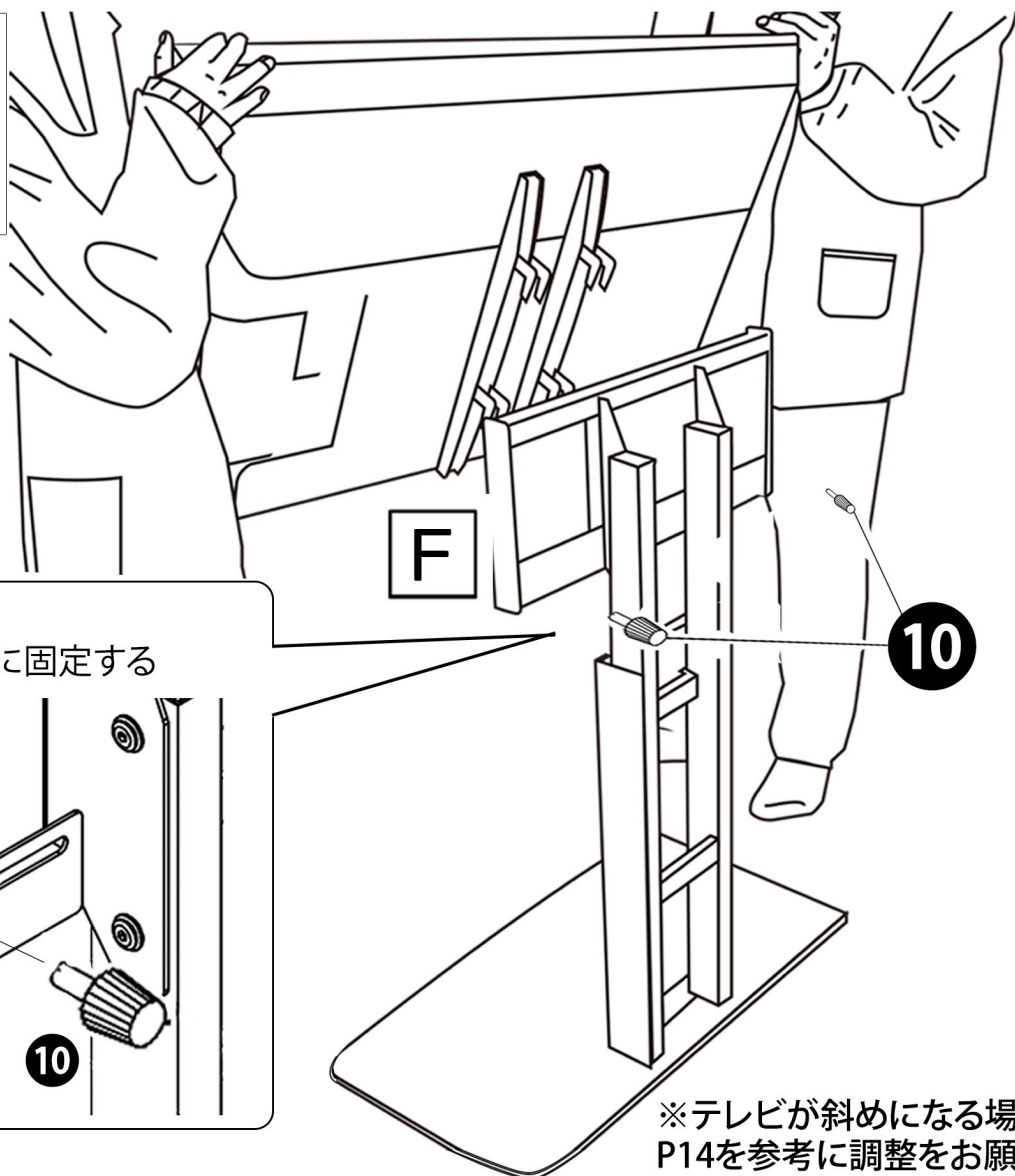
組立手順(5)

手順 6

テレビを取り付けたGブラケットをFフレームに下図のように掛けます。
その後、ねじで固定をします。※2人で設置をお願いします。

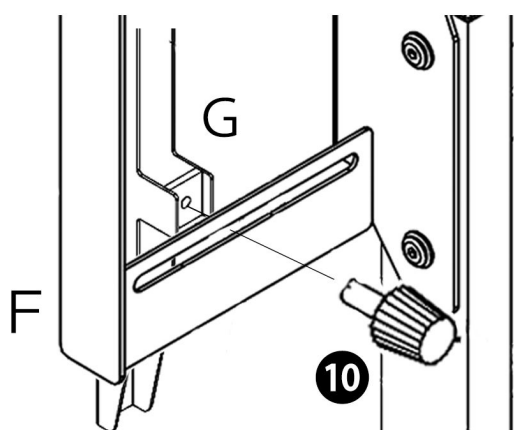


⑩ねじ×2

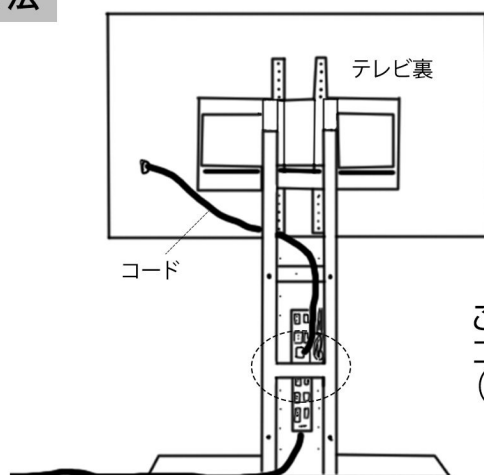


⑩ねじ

Gブラケットの穴に固定する



※コード収納方法

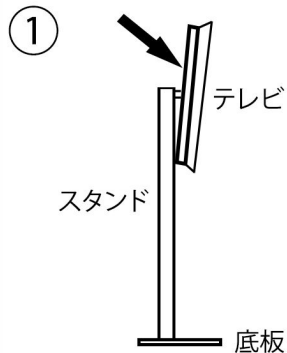


この部分に通して、
コードを流します。
(電源タップの収納も可能です)

テレビが斜めになった場合の改善方法

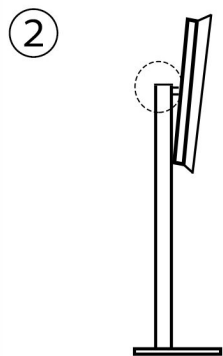
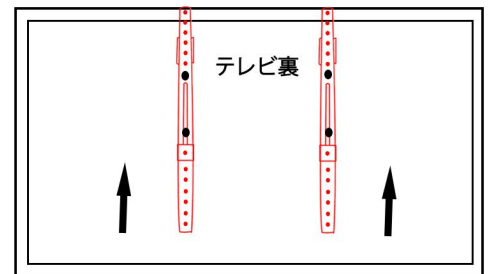
テレビのディスプレイや支柱が斜めになっていると転倒の恐れがあり危険です。
下記の改善方法を確認をお願いします。

「テレビ」が斜めになっている場合



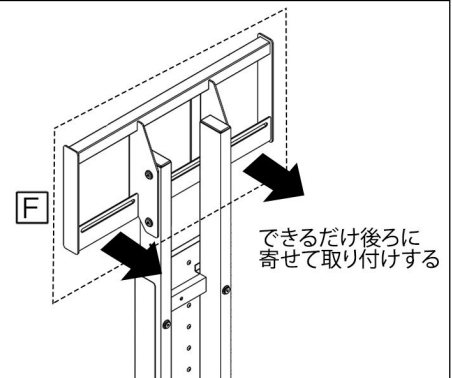
①ブラケットの位置を確認

ブラケットの位置を
できるだけ上に付け、
テレビの位置を低くしてください。

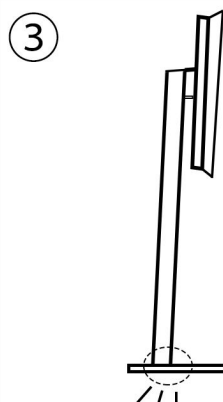


②取り付けフレームの確認

Fフレームの取り付け時点で、斜めになって
いないか確認します。
ねじ穴には遊びがありますので、
フレームを後ろに寄せながら取り付けを
行ってください。

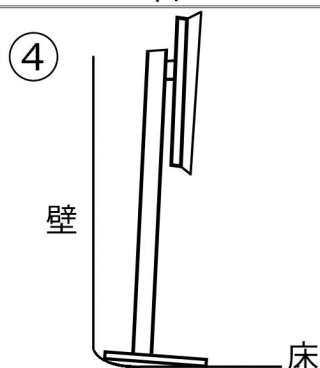
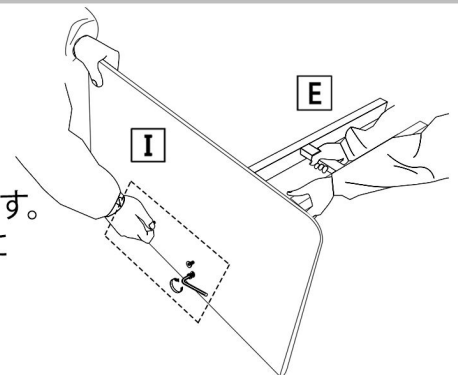


「支柱」が斜めになっている場合



③底板のねじ締め確認

底板とE支柱の取り付けねじが、
しっかり締まっているか確認をお願いします。
緩みがある場合は、テレビの重さで斜めにな
ってしまいます。



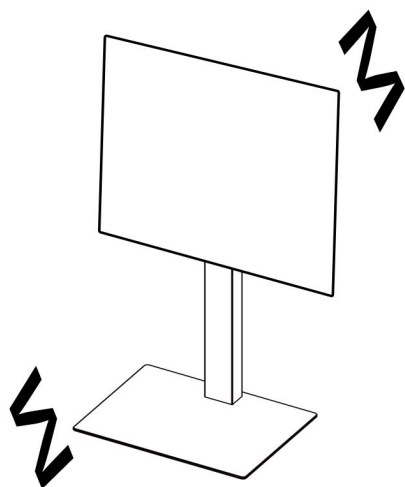
④設置位置の確認

家屋の構造上、壁に向かって床が反りあがっている場合があります。
壁に近づけすぎると、斜めに傾いてしまいますので、
斜めにならない位置に移動をお願いします。
(移動する際は、テレビを一度外し、スタンドのみの状態で行ってください。)

※該当項目の改善方法で改善できなかった場合は、一度①②③④の全ての方法をお試しください。

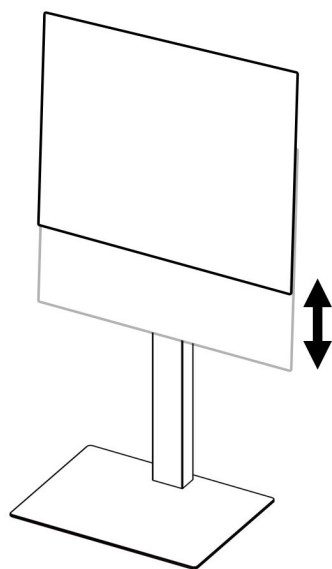
使用上のご注意

人が損害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を示しています。
事故防止の為、必ずお守り頂く事を説明しています。



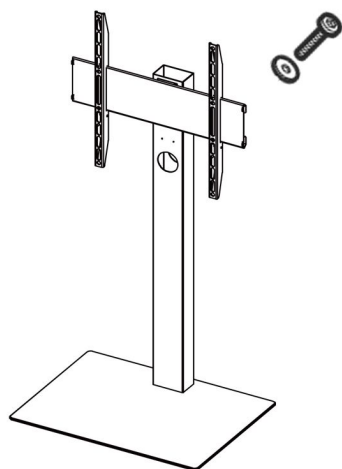
！ 注意

不安定な場所に設置しないでください。
耐荷重強度が十分にある平坦で安定した
場所に設置してください。カーペット、畳
などの不安定な面や、フローリングが反り
あがった壁際などの平たんでない傾斜面に
設置しないでください。



！ 注意

テレビをTVスタンドに取り付けたまま、
高さ調節をしないでください。
TVスタンドの転倒や、テレビの落下など
で破損やけがの原因となります。



！ 注意

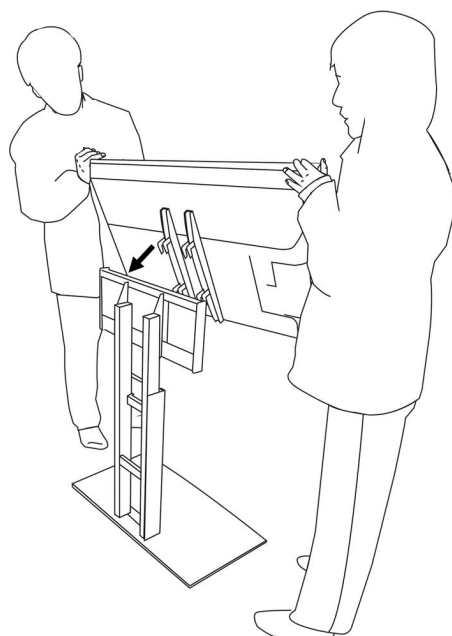
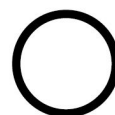
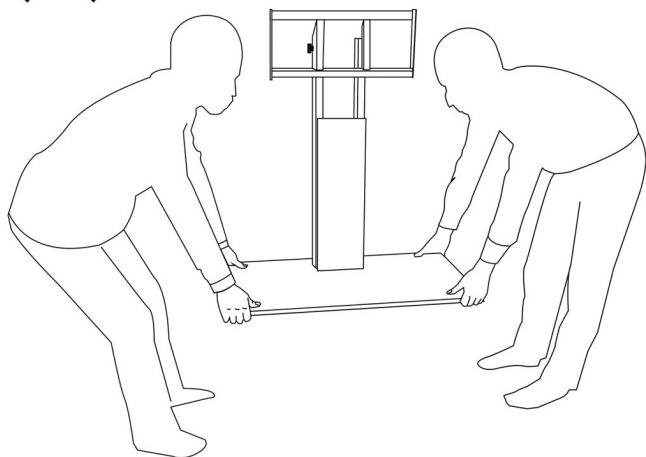
ボルトやネジ類は所定の場所に確実に
締め付けてください。TVスタンドの転倒や、
テレビの落下などで破損やけがの原因と
なります。

安全上のご注意

人が損害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を示しています。
事故防止の為、必ずお守り頂く事を説明しています。

！ 注意

TVスタンドの移動やテレビの設置、また、取り外す際は、必ず2人以上で行ってください。



！ 注意

テレビをスタンドに設置したまま移動しないでください。
TVスタンドの転倒や、テレビの落下などで、破損、けがの原因となります。

